

[2015] 男鹿市ジオパーク学習センター からのニュースレター

ジオ太とジオ美の旅

⑤館山崎

「今年はワクワクするような大発見があるかな」「地球の歴史をまるごと楽しみたいわ」と、男鹿半島・大潟ジオパークの話で盛り上がっているのが、ジオ太くんとジオ美ちゃん。男鹿市ジオパーク学習センターで、「今年はどのジオサイトに行こうか」と相談しています。

最初に提案したのはジオ美ちゃん。「私のルーツを知りたいわ」と手を上げました。ジオ美ちゃんの生まれたところは、ジオサイトの館山崎。ジオ美ちゃんの透き通った美しい青色の肌は、館山崎のグリーンタフでできています。「うん、それはいいね」とジオ太くんも大乗り気で、さっそく出かけることにしました。

館山崎は、2100万年前頃の台島層にあり、一帯は白色や緑色の凝灰岩(タフ)が現れています。大きなグリーンタフの岩石の上(写真右上)でまずは記念撮影。そして東面の露頭を見た途端「すごい!」(写真右下)と2人はその迫力に目を丸くしてしまいました。「グリーンタフの中に、大きな凝灰岩が落下して混入したのね」とジオ美ちゃん。「館山崎はグリーンタフ発祥の地なんだ」とジオ太くんも興奮しています。

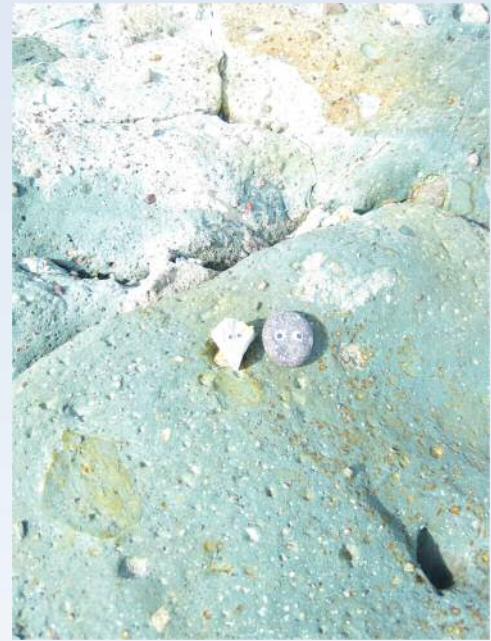
ジオ美ちゃんは、グリーンタフが誕生した時代を思い浮かべています。「ここは常緑広葉樹の化石などが見つかった有名な台島型植物群の場所。つまり当時は温暖な気候で日本列島が産声を上げた頃。海にはクジラやサメの仲間もいたのかなあ」…。ジオ太くんも「大陸と東日本の間の大きな横ずれ断層で、日本列島がユーラシア大陸から分離し日本海が形成されていく時代。これに伴って海底火山活動でグリーンタフが発達した頃なんだね」と、その時代のイメージを大きく膨らませています。

雨で濡れるとより深みが増した緑色になるグリーンタフ。その美しさとグリーンタフ誕生の秘話に感動した2人は、館山崎の歴史からたくさんの方の「元気」をもらい、今年さらにパワーアップしたようです。

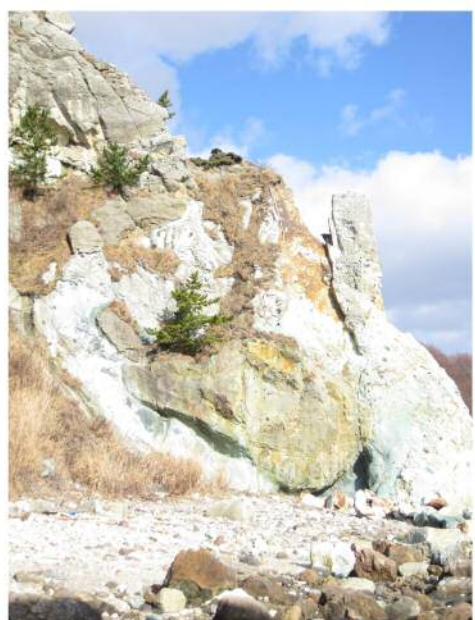
男鹿市ジオパーク学習センター

住所:秋田県男鹿市角間崎字家ノ下 452 男鹿市役所若美総合支所 2階

電話:0185-46-4110



ジオ太くん(右)とジオ美ちゃん



「ジオ太とジオ美の旅」の写真展示は、男鹿市ジオパーク学習センターでご覧いただけます。